

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6120 視覚芸術表現の基礎1			開講形態（隔週偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	B207教室				
代表教員	大坪 晶				
担当教員	大坪 晶				
テーマと到達目標	映像表現を理解するためには、映像(写真・動画)の歴史を知る必要がある。映像表現の背景にある文化をふくめて理解し考察する力を養う。				
概要	まずは動画史と写真史を学ぶ。映像表現の歴史と共に光学機器の発明の歴史も紹介する。次に、鑑賞者としての知見を獲得するために、様々な映像表現を事例として上映しながら解説してゆく。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	動画の歴史1				対面授業
第3回	動画の歴史2				対面授業
第4回	動画の歴史3				対面授業
第5回	写真の歴史1				対面授業
第6回	写真の歴史2				対面授業
第7回	写真の歴史3				対面授業
第8回	映像からみるシュルレアリズム				対面授業
第9回	映像と写真-記録と記憶				対面授業
第10回	映像にみるジオラマ				対面授業
第11回	ポスト・モダニズムの時代				対面授業
第12回	実験映画(Experimental Cinema) について				対面授業
第13回	ビデオ作家研究1				対面授業
第14回	ビデオ作家研究2				対面授業
第15回	写真作家研究1				対面授業
成績評価の基準	毎回のミニレポートに加えて、期末のレポート提出(1500字以上)によって評価する。				
履修にあたっての留意事項	3分の2以上の出席、課題提出が単位取得の条件である。授業内容は前後することがある。「視覚芸術表現の基礎2」火曜日の後期2限を同時に履修することを推奨する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし
---------------	------

教科書	特になし	教科書 (ISBN)	特になし
参考文献	授業時に提示する	参考文献 (ISBN)	